



奨 励 賞

設計部門



レストラン棟から望むイベント広場

メツァ ランドスケープ設計

株式会社ヘッズ東京本社

福留正雄・加藤 修・矢吹克美

埼玉県飯能市に位置する、農業用溜池である宮沢湖の周辺の敷地を利用して、公園的な空間の中の商業施設であるメツァビレッジと、ムーミンのテーマパークであるムーミンバレーパークの2つを合わせた、メツァを整備するための、ランドスケープの設計を行ったものである。

設計に当たっては、テーマパークのランドスケープデザインを行うものであったことに対して、テーマそのものを再現するデザインや北欧のランドスケープを模したデザインは避け、当該施設の上位コンセプトである「余白と、暮らす」に着目し、当該敷地の特性である森と湖の活用と、湖との一体感の形成、そして外界からの隔離に留意しながら、「北欧のゆるやかな時間が流れる居心地の良い環境」を創り出すランドスケープデザインを行うことに専念したものである。

作品概要

作品名——メツァ ランドスケープ設計

所在地——埼玉県飯能市大字宮沢

発注——株式会社ムーミン物語

設計——株式会社ヘッズ東京本社

設計協力——株式会社計画・環境建築、株式会社サココンサルタント

監理——株式会社ヘッズ東京本社

施工——メツァプロジェクト飯能共同企業体、株式会社乃村工務社

設計期間——2016年3月～2017年5月

施工期間——2017年7月～2019年3月

規模——約20.0ha

主要施設——駐車場、管理棟、マーケット棟、レストラン棟、イベント広場、ポート棧橋、ゲート施設、バンカーキカフェ、水浴び小屋、エンマの劇場、コケムス(ミュージアム、レストラン、ショップ)、ムーミン屋敷、リトルミィのプレイスポット、海のオーケストラ号、ヘムレンさんの遊園地

作品評

本作品は、農業用溜池周辺の土地を利用して、商業施設とテーマパークという2つのエリアを持つ、郊外型レクリエーション施設の整備計画を行ったものである。「メツァ」とはフィンランド語で「森」を表す言葉であるが、応募者はこの言葉の意味をよく理解した上で、対象地の特性である森と湖の資源を活かした「ゆるやかな時間が流れる居心地の良い環境創り」に成功している。

特に、大規模な造成を行っているにも関わらず、そのことが意識されず、湖に開けた新しい景観を生み出している点や、森と湖の景観に溶け込む施設配置がなされている点は、良いランドスケープデザインが空間のポテンシャルを高める好事例として高く評価できる。

資料では、もう少し図面と写真の組み合わせによる説明の工夫が欲しかったが、上記の内容が評価され奨励賞となった。